

# 6年国語科学習指導案

1 単元名       ものの見方を広げよう

2 教材名       『鳥獣戯画』を読む      「この絵、わたしはこう見る」

## 3 指導の立場

### (1) 教材観

本単元は、「筆者のものの見方をとらえ、視野を広げる」ことをねらいとしている。『鳥獣戯画』を読むは、アニメーション映画監督である筆者が、アニメーションのルーツともいえる絵巻物や『鳥獣戯画』のすばらしいと感じた点について論説した説明的文章である。筆者のものの見方（解釈・評価）とその対象が明確で、読み手が納得したり自分の見方を比較したりすることができる教材である。また、非連続型テキスト（絵）と連続型テキスト（文章）からなっており、照らし合わせて読むことができるため、「絵と文章とを照らし合わせながら、効果的に読むということ」を学習するのに、適した内容となっている。

『鳥獣戯画』を読むは、絵や絵巻物に対する筆者の評価が繰り返し述べられ、筆者の伝えたいこと、すなわち要旨が最終段落にまとめて凝縮されている。筆者はアニメや漫画と比較することで、絵巻物の優れた表現力や日本文化の特色について述べ、これを守り続けてきた祖先たちの心をもって「人類の宝」と称している。漫画のようなユーモアのある作品に仕上がっていることで、児童らしい解釈や評価がしやすく、筆者のものの見方と比較することで、自分のものの見方を広げ、多様な見方をすることができることにつながっていくと考えられる。

さらに、「この絵、わたしはこう見る」では、『鳥獣戯画』を読むで学んだものの見方（解釈・評価）や、それを効果的に伝えるための表現の工夫を生かして、自分なりに絵から読み取ったことや感じたことを伝える活動を行う。教材として提示されている二枚の絵画は、単元の導入時に示し、解説文を書くというめあてをもって学習を進めていくようにしたい。

### (2) 児童の実態

説明的な文章を読むことについては、5年生までに、「文章の構成や表現から要旨をとらえ、読み取った内容について自分の考えをもつ」ことを学習してきた。また、6月に学習した「感情」「生き物はつながりの中に」で、「文章と対話しながら読むこと」や「筆者の主張とその根拠をつかむこと」と、「表現の工夫とその効果を話し合うという過程をていねいに行うこと」を通して、筆者の願いをつかむことを学習した。自分の感想や疑問を書き込みながら読むことで、約8割の児童が、筆者の意図をとらえ、それに対する自分の考えをもつことができるようになった。また、筆者が表現を工夫するのは自分の思いや願いを伝えるためであるということは、約9割の児童が理解することができた。

書くことについては、6月に学習した「ようこそ、わたしたちのまちへ」で、「自分の考えが伝わるように、文章全体の構成や表現の工夫をすること」を学習してきた。しかし、書く事柄を収集したり、自分の考えがより伝わるように文章構成や表現を工夫したりすることは十分ではなかった。

本単元では、『鳥獣戯画』に対する筆者の解釈や評価を読み取り、それに対する自分の考えをもつことで、筆者のものの見方をとらえながら分析的に絵画に向き合う力を付けさせたい。さらに自らの感じ方やものの見方を伝えるための表現の工夫を学び、それらを活用して、自分の解説文を書く活動につなげていきたい。

## 4 研究テーマに関わって

### (1) 言語活動の充実を図った単元指導計画

#### ①言語意識を明確にし、単元を貫く課題を位置付けた単元指導計画

- ・『『鳥獣戯画』を読む』と「この絵、わたしはこう見る」を一つの単元として扱う。『『鳥獣戯画』を読む』で筆者の見方をとらえるとともに、それを効果的に伝えるための表現の工夫を学習する。その学習で付けた言葉の力を活用して、「この絵、わたしはこう見る」で自分が解説したい絵について自分なりの感じ方やものの見方を文章にまとめ、伝え合う学習を行う。単元を貫く課題は、「筆者の作品に対する見方をとらえ、それを生かして絵画作品の解説文を書こう」と設定する。

#### ②ねらいや目的に応じた言語活動の充実

- ・第二次では、毎時間読み取りの学習後に、自分の解説文に生かしたいことをまとめる活動を取り入れる。筆者の絵に対する見方（解釈・評価）、それらを伝えるための書き出しや表現の工夫の中から、自分の解説文に生かしていきたいことをまとめ、書きためていく。書きためたものは、第三次の解説文を書く活動に生かしていけるようにする。
- ・第三次では、自分なりの感じ方が伝えられるように書いた解説文を、グループで交流する。作品を読み比べることで、自分の見方をさらに広げていけるようにする。

### (2) 学び合いを通して、読みや表現を深める授業の在り方

#### ①根拠をはっきりさせ、自分の考えをもつための指導・援助の工夫

- ・絵巻物に対する筆者の説明と評価の部分にサイドラインを引くことや、絵と照らし合わせて読み取ることで、事実と筆者の意見とを区別して捉えることができるようにする。
- ・また、文末表現に着目することで事実と意見の書き表し方の違いをとらえやすくしたり、書き出しや体言止めなど様々な表現のしかたを理解して活用したりすることができるようにする。

#### ②仲間との学び合いの場と方法の工夫

- ・本時では、個人で読み取ったことを、グループで交流する。読み取った内容を確認するとともに、自分の読み取りに対して自信をもつことができるようにする。
- ・全体交流では、絵巻物についての説明と筆者の評価、それに対する自分の考えを構造的に板書に位置づけることで、筆者のものの見方を確実に捉えられるようにする。
- ・本時では、筆者の伝えたかったこと（要旨）に気付くことができるように、「人類の宝」という言葉に着目して深めの発問を行う。

#### ③付けたい力を自覚させ、次時への意欲を高める評価活動の工夫

- ・第二次では、毎時間、自分の解説文に生かしたいことをまとめる言語活動を取り入れ、第三次の絵画の解説文を書く言語活動につなげる。そのために、書きためたものが振り返りやすいワークシートの工夫をし、準備する。
- ・学習を通して分かったことや感想を、自分の言葉でまとめることで、毎時間の学習の自己評価とする。
- ・本時付けたい力に関わる自己評価として、「筆者の評価に対する感想」と「自分の解説文に生かしたいこと」の観点で学習を振り返る。

## 5 本時のねらい

筆者がどんな言葉で絵巻物を評価しているのか、絵と照らし合わせながら読み取ることを通して、筆者が『鳥獣戯画』を「人類の宝」とまで評価しているわけに気づき、自分の解説文に生かしたいことをまとめることができる。

## 6 本時の展開（4／10）

|      | 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 指導・援助・評価 ◎評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
|------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ  | 1 前時の学習を振り返り、本時の課題を確認する。<br>筆者が、絵巻物について、どんな感じ方や評価をしているのか読み取り、自分の解説文に生かしたいところを見つけてまとめよう。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | ・筆者の絵に対する説明と評価について、掲示物で振り返ることができるようにする。                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 考える  | 2 絵巻物についての説明と筆者の評価の部分に波線を引いて筆者の主張を読み取り、自分の考えを書く。<br><u>長い紙に絵を連続して描く。</u><br>(評価) 取っ組み合っていた蛙が兎を投げ飛ばしたように感じられる。<br>(自分の考え) はやく動かすと確かに動いているように見える。<br><u>右から左へと時間が流れていく。</u><br>(評価) ある一瞬をとらえているのではなく、次々と時間が流れていることがわかる。<br>(自分の考え) 続けてみていくと、漫画を見ているように感じる。<br><u>ほかにもとびきりすぐれた絵巻がいくつも制作された。</u><br>(評価) 上手な絵と言葉で、長い物語を実に生き生きと語っている。<br>(自分の考え) ほかの絵巻物もじっくり見てみたい。<br><u>この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれた。</u><br>(評価) 国宝であるだけでなく、人類の宝なのだ。<br>(自分の考え) 人類の宝というのは言い過ぎではないか。 | ・絵巻物の説明部分には赤波線を、絵巻物についての評価が表れている部分には青波線を引き、事実と感想・評価を区別して読み取ることができるようにする。<br>・文末表現（～感じられる。～わかる。～なのだ。等）に着目することで、筆者の主張をとらえられるようにする。<br>・筆者の評価に対する考えを、自分が絵を見て感じることと比べながら短い言葉でまとめられるように、ワークシートを準備する。<br>・絵と照らし合わせながら説明することで、時間の流れが実感できるようにする。<br>・絵巻物についての説明と筆者の評価、それに対する考えを、構造的に板書に位置付けることで、事実と感想・評価を区別してとらえることができるようにする。 |
| 深める  | 3 グループで、絵巻物についての説明と筆者の考えについて交流した後、全体で交流する。<br>【深めの発問】<br>すぐれた絵巻物がいくつもある中から、筆者はなぜ『鳥獣戯画』を「人類の宝」と述べているのだろうか。<br>・『鳥獣戯画』は、日本文化の大きな特色である絵の力を使って物語を語る始まりのものだから。<br>・そのころの絵で、『鳥獣戯画』のほかにはこれほど自由闊達なものは、世界を見渡してもないから。<br>・850年も、この絵巻物を大切に保存し、私たちに伝えてくれたから。                                                                                                                                                                                                            | ・グループ交流を位置付けることで、読み取りの確認をするとともに、自信をもって意見を言うことができるようにする。<br>・深めの発問をすることで、「人類の宝」につながる筆者の主張に気付くことができるようにする。<br>・「国宝であるだけでなく」に着目することで、「人類の宝」である理由を考えることができるようにする。                                                                                                                                                         |
| まとめる | 『鳥獣戯画』というすぐれた絵巻物が850年も大切に保存されてきたからこそ、今の漫画やアニメがある。だから、筆者は『鳥獣戯画』を「人類の宝」と評価している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ◎「読むこと」(1)ウ<br>筆者が、何に着目し、絵巻物をどう評価しているかについて、絵と文章を対照させながら読み取り、自分の解説文に生かしたいことをまとめている。                                                                                                                                                                                                                                    |
| つなげる | 4 絵巻物についての筆者の評価に対する感想と、自分の解説文に活かしたいことを書く。<br>・何気なく見ていた絵にも、その絵が描かれた背景などを調べていくと理解が深まることが分かったので、絵画作品について調べ、活かしていきたい。<br>5 学習の振り返りをする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | ・本時で学習した絵巻物についての評価に対する考えと、自分の解説文に活かしたいことという観点でまとめられるようにする。<br>・本時の学習のがんばりを認め、評価する。                                                                                                                                                                                                                                    |

# 6年生 ものの見方を広げよう『鳥獣戯画』を読む・この絵、わたしはこう見る

## ◆単元目標

◎事実と感想・意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことができる。

読(1)ウ・オ

◎文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

伝国(1)イ(オ)

○絵から感じたことの中から書くことを決め、全体を見通して事柄を整理することができる。

書(1)ア

◎事実と感想、意見などを区別するとともに、見た絵の様子を簡単に書いたり詳しく書いたりすることができる。

書(1)ウ・カ

## ◆単元指導計画(全10時間)

| 次 | 時 | ねらい                                                             | 学習活動                                                                                                                                                                                                                                                 | 指導・援助および評価規準                                                                                                                                                                |
|---|---|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 一 | 1 | 絵を最初に見た自分の感じ方と文章を比べて読むことを通して、筆者のものの見方に対して関心をもち、学習の見通しをもつことができる。 | ①教科書の絵を見て、気付いたこと、感じたことを簡単に書く。<br>②冒頭の文章を読み、自分たちの見方や感じ方と比べて、筆者の絵に対する見方や感じ方で気付いたことを話し合う。<br>③単元とリード文を読み、この単元で学習することを確認する。<br><div>筆者のものの見方や感じ方について感想をもとう。</div> ④『鳥獣戯画』を読むの音読を聞いて学習課題を決め、学習の見通しをもつ。<br><div>筆者の作品に対する見方をとらえ、それを生かして絵画作品の解説文を書こう。</div> | ・初めに絵について自分の感じ方をもたせることで、文章と主体的に向き合うことができるようにする。<br>・「たいせつ」にある三つの観点を提示して、この単元で学習することを確認できるようにする。<br><b>【関】</b> 絵についての自分の感じ方と冒頭の文章を比べながら興味をもって文章を読み、筆者のものの見方や感じ方について感想を述べている。 |
|   | 2 | 段落ごとの役割を考えながら読むことを通して、「初め」「中」「終わり」の文章構成と段落ごとの内容をつかむことができる。      | ①本時の課題を確認する。<br><div>段落構成と段落ごとに書かれている内容をまとめよう。</div> ②段落ごとに、自分の感想や疑問を書き込みながら読む。<br>③段落ごとに書かれている内容と文章構成をまとめる。<br>④学習のまとめを行う。                                                                                                                          | ・下段に感想や疑問を書き込みながら読み、絵と対応させながら読むことができるようにする。<br>・内容をつかんだ後で、段落の役割について、確認する。<br><b>【読】</b> 段落ごとに書かれている内容と文章構成をまとめ、おおまかな内容をつかんでいる。                                              |

|   |              |                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---|--------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 二 | 3            | <p>絵と文章を照らし合わせながら読むことを通して、筆者が絵の描き方について、どんな感じ方をしているのかつかみ、自分の解説文に生かしたいことをまとめることができる。</p>                                                      | <p>①学習課題を確認する。</p> <p>絵と文章を照らし合わせながら読み、筆者の見方をとらえまとめよう。</p> <p>②「表現に着目して読もう」に示された観点に沿って、文章と絵を照らし合わせながら読む。</p> <p>③絵に対する筆者の見方に対し、自分の考えや感想をまとめる。</p> <p>筆者の絵に対する評価は、まとめて言うとどんな言葉で表せるだろう。</p> <p>④自分の解説文に生かしたいことをまとめる。</p>                                | <ul style="list-style-type: none"> <li>・対応する絵と文章を線で結ぶことで、筆者が、絵のどのような事実を根拠として、解釈しているのか明確にさせる。</li> <li>・筆者のものの見方で気付いたことを書きためることで、自分の解説文に生かせるようにする。</li> </ul> <p>【読】筆者が、絵のどの部分を取り上げ、何に着目しているのかについて、絵と文章を対照させながら読み取り、自分の解説文に生かしたいことをまとめている。</p>   |
|   | 4<br>(6の2本時) | <p>筆者がどんな言葉で絵巻物を評価しているのか、絵と照らし合わせながら読み取ることを通して、筆者が『鳥獣戯画』を「人類の宝」とまで評価しているわけに気付き、自分の解説文に生かしたいことをまとめることができる。</p>                               | <p>①学習課題を確認する。</p> <p>筆者が、絵巻物について、どんな感じ方や評価をしているのか読み取り、自分の解説文に生かしたいところを見つけてまとめよう。</p> <p>②絵巻物についての筆者の説明と評価を読み取る。</p> <p>③絵巻物についての評価に対する自分の考えを書く。</p> <p>すぐれた絵巻物がいくつもある中から、筆者はなぜ『鳥獣戯画』を「人類の宝」と述べているのだろう。</p> <p>④筆者の評価に対する感想と、自分の解説文に生かしたいことをまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵巻物に対する説明と評価に線を引くことで、事実と感想・評価を区別して読み取ることができるようにする。</li> <li>・筆者の評価に対する考えを、自分が絵を見て感じることと比べながら短い言葉でまとめられるようにする。</li> </ul> <p>【読】筆者が、何に着目し、絵巻物をどう評価しているのかについて、絵と文章を対照させながら読み取り、自分の解説文に生かしたいことをまとめている。</p> |
|   | 5<br>(6の1本時) | <p>筆者が自分のものの見方を効果的に伝えるためにしている表現の工夫やその効果を考えることを通して、筆者がそのように表現したのはアニメーション映画監督として、『鳥獣戯画』のすばらしさを伝えたいからだということに気付き、自分の解説文に生かしたいことをまとめることができる。</p> | <p>①絵や絵巻物に対する筆者の評価を確認する。</p> <p>筆者の表現や構成の工夫とその効果を読み取り、筆者が工夫したわけを考え、自分の解説文に生かしたいところを見つけてまとめよう。</p> <p>②表現や構成の工夫について話し合う。</p> <p>③工夫の効果について考える。</p> <p>初めは分けて出した絵を、136・137ページで今度はつなげて出したのは、なぜだろうか。</p> <p>④筆者の表現の工夫に対する感想と自分の解説文に生かしたいことをまとめる。</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時までの学習内容を掲示して、絵や絵巻物に対する筆者の評価を確認できるようにする。</li> <li>・教科書の手引きにしたがって、工夫を絞ることで、話し合いが深まるようにする。</li> </ul> <p>【読】筆者が表現や構成の工夫をしているのは、『鳥獣戯画』のすばらしさを伝えたいからであることに気付き、自分の解説文に生かしたいことをまとめている。</p>                   |

|   |        |                                                                          |                                                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                        |
|---|--------|--------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|   | 6      | 新しく知ったことや、自分のものの見方が広がったと思うことについてまとめ、自分の考えを話し合うことを通して、自分のものの見方を深めることができる。 | <p>①学習課題を確認する。</p> <p>新しく知ったこと、自分のものの見方が広がったと思うことを話し合い、深めよう。</p> <p>②「考えをまとめよう」から題材を選び、自分の考えをまとめて書く、</p> <p>③同じ題材でグループになり、交流する。</p> <p>④グループで話し合ったことを、全体で交流する。</p> <p>⑤交流を通して深まったことで、自分の解説文に生かしたいことをまとめる。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・選んだ題材でどんなことを書くとよいかを示し、時間内で、まとまった文章が書けるようにする。</li> <li>・文末表現の例を示し、筆者の考えと自分の考えを区別して書けるようにする。</li> </ul> <p>【読】筆者の考えと自分の考えを区別しながら、自分のものの見方や考え方について話し合い、自分の解説文に生かしたいことを深めている。</p>  |
| 三 | 7      | 絵に対して「問い」を立てながら自問自答することを通して、絵から読み取ったことや感じたことを書き出すことができる。                 | <p>①絵を見て、感じたことを話し合う。</p> <p>好きな絵を選び、絵から感じたことを書き出そう。</p> <p>②観点に沿って「問い」を立てながら、絵から感じたことを書き出す。</p> <p>③絵から読み取ったことの中で、最も伝えたいことを決める。</p> <p>④詳しく書くことや簡単に書くことの見当を付け、文章の構成を考える。</p>                                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観点を示すことで、それを参考にしながら自問自答する形で読み取ったことを書くことができるようにする。</li> <li>・読み取ったことの中から、詳しく書くことや書く順序を決めることで、これから書くことの見当を付けることができるようにする。</li> </ul> <p>【関】絵画に興味をもち、自分なりに絵から情報を読み取り、書き出している。</p> |
|   | 8<br>9 | 表現の効果や工夫を考えることを通して、自分の見方を伝えることのできる解説文を書くことができる。                          | <p>①『『鳥獣戯画』を読む』で学習した表現の工夫を確認する。</p> <p>効果的な表現の工夫をして、自分の見方を伝えるための解説文を書こう。</p> <p>②〈表現の例〉とそのよさを確認する。</p> <p>③絵から読み取ったことが伝わるように、表現を工夫して解説文を書く。</p>                                                               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・『『鳥獣戯画』を読む』で学習した表現の工夫を掲示しておくことで、活用できるようにしておく。</li> <li>・〈書き出しの例〉と〈表現例〉を取り入れることができるように助言する。</li> </ul> <p>【書】読み取ったことと感じたことを区別して、書き出しや文末表現を工夫して書いている。</p>                        |
|   | 10     | 書いたものを読み合い、絵の見方のよさや表現のしかたに着目して、助言し合うことを通して、ものの見方や表現方法を広げることができる。         | <p>①学習課題を確認する。</p> <p>解説文をグループで読み合い、絵の見方や表現のよさを伝え合おう。</p> <p>②グループで交流して、感想を伝え合う。</p> <p>③全体で交流する。</p> <p>④本単元のまとめをする。</p>                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・交流する観点（絵に対する見方・表現のしかた）について話し合うように助言する。</li> </ul> <p>【書】友だちの文章の優れた点、自分の考えとの共通点・相違点を述べている。</p>                                                                                  |

# 6年 国語科学習指導案

1 単元名       ものの見方を広げよう

2 教材名       『鳥獣戯画』を読む」「この絵、わたしはこう見る」

## 3 指導の立場

### (1) 教材観

本単元は、「筆者のものの見方をとらえ、視野を広げる」ことをねらいとしている。『鳥獣戯画』を読むは、アニメーション映画監督である筆者が、アニメーションのルーツともいえる絵巻物や『鳥獣戯画』のすばらしいと感じた点について論説した説明的文章である。筆者のものの見方（解釈・評価）とその対象が明確で、読み手が納得したり自分の見方を比較したりすることができる教材である。また、非連続型テキスト（絵）と連続型テキスト（文章）からなっており、照らし合わせて読むことができるため、「絵と文章とを照らし合わせながら、効果的に読むということ」を学習するのに、適した内容となっている。

『鳥獣戯画』を読むは、絵や絵巻物に対する筆者の評価が繰り返し述べられ、筆者の伝えたいこと、すなわち要旨が最終段落で述べられた文章である。筆者はアニメや漫画と比較することで、絵巻物の優れた表現力や日本文化の特色について述べ、これを守り続けてきた祖先たちの心をもって「人類の宝」と称している。漫画のようなユーモアのある作品に仕上がっていることで、児童らしい解釈や評価がしやすく、筆者のものの見方と比較することで、自分のものの見方を広げ、多様な見方をすることができることにつながっていくと考えられる。

さらに、「この絵、わたしはこう見る」では、『鳥獣戯画』を読むで学んだものの見方（解釈や評価）や、それを効果的に伝えるための表現の工夫を生かして、自分なりに絵から読み取ったことや感じたことを伝える活動を行う。

### (2) 児童の実態

本学級の児童は、学習に集中できなかったり、作業への取りかかりに時間がかかったりする児童が多い。話すことに夢中になるあまり、仲間の話に耳を傾けられない児童もいる。

説明的な文章を読むことについては、5年生までに、「文章の構成や表現から要旨をとらえ、読み取った内容について自分の考えをもつ」ことを学習してきた。また、6月に学習した「感情」「生き物はつながりの中に」で、「文章と対話しながら読むこと」や「筆者の主張とその根拠をつかむこと」と「表現の工夫とその効果を話し合うという過程をていねいに行うこと」を通して、筆者の願いをつかむことを学習した。筆者が表現を工夫するのは、自分の思いや願いを伝えるためであるということを約9割の児童が理解することができた。

書くことについては、6月に学習した「ようこそ、わたしたちの町へ」で、「自分の考えが伝わるように書く」ことを学習したが、自分の考えがより伝わるように文章全体の構成や表現の工夫をすることができた児童は、約3割にとどまった。

本単元では、『鳥獣戯画』に対する筆者の解釈や評価を読み取ったり、効果的に伝えるための表現の工夫について考えたりすることを通して、筆者のものの見方をとらえたい。さらに、筆者と自分のものの見方と比べたり、仲間との話し合いを通して共通点や相違点に気づいたりして、視野を広げることができるようにする。そして、分析的に絵画に向き合い、自分が感じたことや自分のものの見方について、学んだ表現や構成の工夫を活用しながら、自分の解説文を書く活動につなげていきたい。

## 4 研究テーマに関わって

### (1) 言語活動の充実を図った単元指導計画

#### ①言語意識を明確にし、単元を貫く課題を位置付けた単元指導計画

- ・『『鳥獣戯画』を読む』と「この絵、わたしはこう見る」を一つの単元として扱う。『『鳥獣戯画』を読む』でもものの見方を広げたことを生かして、「この絵、わたしはこう見る」では、『風神雷神図屏風』の解説文を書く活動へとつなぐ。
- ・単元の導入時に、『鳥獣戯画』の教科書とは別の場面の絵の解説文を書いてみる。自分の書いたものと筆者の書いたものを比較することを通して書き方を知り、自分のものの見方を広げる。また、解説文を書くために必要な解釈や評価を伝えるための表現や構成の工夫について学び、もう一度自分で解説文を書くときに生かすことができるようにする。単元を貫く課題は、「筆者の作品に対する見方をとらえ、それを生かして絵画作品の解説文を書こう」と設定する。

#### ②ねらいや目的に応じた言語活動の充実

- ・第二次では、絵と文章を照らし合わせながら読むことを通して、筆者のものの見方や表現・構成の工夫を読み取る。そのために、「何が」「どのように」評価されているか、筆者が自分の思いを伝えるために、どんな表現の工夫をしているかを考えることで、「筆者が読者に訴えていることは何か」に迫ることができるようにする。また、毎時間の最後に、自分の解説文に生かしたいことをまとめる活動を取り入れることで、第三次の活動に生かしていけるようにする。
- ・第三次では、自分なりの感じ方が伝えられるように書いた解説文をグループで交流する。自分の作品と比べ、差異点や共通点、文章の工夫などについて交流し合うことを通して、自分の見方をさらに広げることができるようにする。

### (2) 学び合いを通して、読みや表現を深める授業の在り方

#### ①根拠をはっきりさせ、自分の考えをもつための指導・援助の工夫

- ・『『鳥獣戯画』を読む』では、筆者が絵のどの部分に着目しているかを、絵と文をつなぐことで対応させる。次に、筆者の絵の解説部分を赤波線、評価の部分を青波線で色分けしながら読んでいくことで、関係をとらえることができるようにする。そうして、筆者のものの見方をつかむことができるようにする。
- ・本時では、筆者の表現の工夫をした場合としていない場合とを比べることで、工夫の効果について考えさせる。また、「生き物はつながりの中に」で学習した表現方法について掲示することで、既習学習を生かすことができるようにする。

#### ②仲間との学び合いの場と方法の工夫

- ・筆者の解説部分と評価部分を分ける場では、個人追究の後、グループで絵と文章を対照させながら読むことで、筆者のものの見方をとらえることにつなげ、自信をもてるようにする。
- ・本時では、表現の工夫の効果を考える場面で全体交流を行う。仲間の考えに反応したり、つなぎ発言をしたりして交流の仕方を工夫することで、筆者がこのように工夫して伝えた意図をとらえ、自分のものの見方をより効果的に伝えることについて考えられるようにする。

#### ③つきたい力を自覚させ、次時への意欲を高める評価活動の工夫

- ・第二次では、毎時間、自分の解説文に生かしたいことをまとめる言語活動を取り入れ、第三次の解説文を書くという言語活動につなぐ。『『鳥獣戯画』を読む』の筆者から書き方を学び、着眼点や表現方法を知ること、自分の解説文に生かそうという意欲を高めていくことができるように、書きためたものが見やすいワークシートを準備する。
- ・本時つきたい力に関わる自己評価として、「表現や構成の工夫に対しての感想を書くことができたか」と「自分の解説文に生かしたいことを書くことができたか」の観点で毎時間の学習を振り返る。



## 5 本時のねらい

筆者が自分のものの見方を効果的に伝えるためにしている表現の工夫やその効果を考えることを通して、筆者がどのように表現したのはアニメーション映画監督として、『鳥獣戯画』のすばらしさを伝えたいからだということに気づき、自分の解説文に生かしたいことをまとめることができる。

## 6 本時の展開 (5/10)

| 過程   | 学 習 活 動                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | 指導・援助・評価 ◎評価規準                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| つかむ  | 1 『鳥獣戯画』の絵や絵巻物に対する筆者の評価を確認する。<br>・『鳥獣戯画』の絵ほど、自由闊達に描かれたものはない。<br>・『鳥獣戯画』は、絵の力を使って物語を語る始まりのもの。850年も大切に保存されてきたからこそ、今の漫画やアニメがある。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                | ・前時までの学習を掲示物で振り返り、絵や絵巻物に対する筆者の評価を確認する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 考える  | 2 本時の課題をつかむ。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">筆者の表現や構成の工夫とその効果を読み取り、筆者が工夫したわけを考え、自分の解説文に生かしたいところを見つけてまとめよう。</div><br>3 表現や構成の工夫について話し合う。<br>・「はっけよい、のこった。」から始まっている。<br>・文の終わりが、「一だ。」「一である。」ではなく、「返し技。」「かわず掛け。」という言葉で終わっている。<br>・133ページと135ページの絵が本当はつながっているのに、分けて出している。<br>・漫画やアニメの話が出てきた。<br><br>4 工夫の効果について考える。<br>書き出しの工夫・・・実況中継みたいでおもしろい。<br>『鳥獣戯画』に興味をもつことができる。<br>文末の工夫・・・言い切っているのに、リズムがある。<br>次々変わる。テンポがある。<br>絵の出し方・・・始めは別々に出すことで、絵のすばらしさを伝えている。<br>後からつながっているのだと分かったら、つながって描かれていることがおもしろく感じる。<br>漫画やアニメの話・・・興味もてるし、分かりやすい。<br>昔から続いていることが分かる。 | ・読者である自分たちが、表現や構成の工夫により、どんな印象を受けたかを明らかにする。<br><br>・いくつかの工夫が出されることが予想されるが、教科書140ページの手引きにしたがって、工夫を4つに絞ることで、話し合いが深まるようにする。<br>・全体で表現の工夫（上段）を確認し、その効果（下段）について、各自考えるためのワークシートを準備する。<br><br>・工夫ごとに、全体で交流する。板書を構造的にすることで、筆者の表現の意図に気付くことができるようにする。<br>・第3・4時に学習した、筆者の評価を伝えるために、工夫しているのだという観点で考えさせる。<br>・表現の違いを考えさせることで、筆者の工夫の意図に気付くことができるようにする。 |
| 深める  | 【深めの発問】<br>初めは分けて出した絵を、136・137ページで今度はつなげて出したのは、なぜだろうか。<br><br>・絵としても、絵巻物としても、すばらしいことを伝えたかったからだと思う。<br>・アニメーションのように、ページをめくって見させることで、『鳥獣戯画』のおもしろさや、今のアニメと同じ原理だということが伝えたかったのだと思う。<br>・筆者は、日本文化の特色をもつ『鳥獣戯画』のことを、「人類の宝」だということを納得させるために、表現を工夫したのだと思う。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | 《補助発問》<br>・始めから絵が続いていることを説明してもよかったのに、どうして筆者は説明しなかったのか。<br><br>・筆者は、アニメーション映画監督らしいものの見方で、『鳥獣戯画』を説明していることに、気付かせる。                                                                                                                                                                                                                         |
| まとめる | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">筆者は、アニメーション映画監督として、『鳥獣戯画』が絵としても絵巻物としても、すばらしいことを伝えるために、書き方や絵の出し方を工夫している。</div>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | ◎「読むこと」(1)ウ<br>筆者が表現や構成の工夫をしているのは、『鳥獣戯画』のすばらしさを伝えたいからであることに気づき、自分の解説文に生かしたいことをまとめている。                                                                                                                                                                                                                                                   |
| つなげる | 5 筆者の表現の工夫に対する感想と自分の解説文に生かしたいことを書く。<br>・筆者は、アニメーションの技法を使って、『鳥獣戯画』のすばらしさを伝えてくれたので、自分が書くときにも実況中継みたいに書いて、読む人を楽しませたり、作品のよさを伝えたい。<br>6 学習の振り返りをする。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | ・本時学習した、表現や構成の工夫に対しての感想と、自分の解説文に生かしたいことという観点でまとめられるようにする。<br>・本時の学習の頑張りを認め、評価する。                                                                                                                                                                                                                                                        |